

瓦版しろいし

発行：白石市市民経済部まちづくり推進課

編集協力：特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

vol.2

令和6年1月1日発行



同世代だけが集う場だからこそ語られる本音多数

50代以下の「地域活動への参画」のポイントがいくつも浮かび上がる

令和5年5月に開催した地域づくりフォーラム以降、より幅広く白石地区の方々の意見をお聞きするために、世代別での対話の場を複数回にわたって開催しました。

対話の場は、10〜20代限定の「若者会議」、30〜50代限定の「次世代会議」、そして60代以上の「熟練世代会議」と3回に分けて開催。これまで、50代以下の世代は、同じ年代の人たちだけで集まり話し合う機会がほとんど無かっただけに、どれくらい関心を示して下さるのか未知数でしたが、参加を呼びかけてみたところ、思っていた以上に、たくさんの方に参加いただきました。

同じ世代だけが集う場だからこそ語られる本音。特に、今まであまり知ることができなかった10〜50代の意見はとても興味深く、前向きな意見もたくさん出てきました。熟練世代会議で、こうした若者・次世代の意見を紹介したところ、「とても興味深い結果だ」「ぜひ一緒に話し合いをしてみたい」という声が多数寄せられました。

世代を超えたコミュニケーションの必要性は、誰もが認めるところ。その足がかりができた世代別会議は、どんな様子で、どんな意見が出てきたのか、次頁以降でご紹介します。

若者・次世代・熟練世代別に対話の場を開催

地域づくりフォーラム第二弾を開催します！

白石地区の地域づくりを
住民同士で膝をつき合わせて話し合う

円卓談議

世代間ギャップを埋めるには「対話」が必要だ！

1/18 木 18:30~20:30
2024

ホワイトキューブ (白石市文化体育活動センター)

【共催】白石市／白石市自治会連合会白石支部

少人数のグループに分かれ、白石地区のこれからの地域づくりについて、膝をつき合わせて、ざっくばらんに参加者同士で対話(意見交換)を行います。

右のQRコードをスマートフォンで読み込んでいただくと、申込みフォームにアクセスします。必要事項をご入力の上、1月12日(金)までにお申し込み下さい。



<問い合わせ先>

白石市 まちづくり推進課 まちづくり支援係

【TEL】0224 (22) 1327

【メールアドレス】katsudo@city.shiroishi.miyagi.jp

【編集後記】

今回、世代別会議という形で、同世代が集まって話し合う機会を設けましたが、50代以下の方々も、地域活動に対していろいろと考えていらっしゃる事がわかりました。決して関心が無いわけではない。足りていないのは、「世代を超えた対話・交流の機会」です。これらが確認できたことは、今後の取り組みを考える上で大きな収穫でした。

地域づくりフォーラム第二弾では、こうした声を受けて、「トコトン多世代での対話を行います。果たしてどんな化学反応が起きるか!?」白石地区の未来を拓く対話に期待が膨らみます。



地域づくり 熟練世代会議

【日時】令和5年12月7日(木) 14:00~16:00

【参加者】60代以上の市民35名

現在、地域のさまざまな役や作業を一手に引き受け、地域を支え牽引しているのが、60代以上の熟練世代です。自治会や各種団体の役割を務めることが多いこの世代の方々には、これまでに何度も研修等で話し合う機会が設けられてきました。そうしたことから、この熟練世代会議では、①先に行われた若者・次世代会議の結果の共有②直前に実施した白石市自治会連合会白石支部による新潟市コミュニティ協議会視察の結果共有という2つを行い、その上で意見交換を行いました。

参加された皆さんの関心は、やはり若者・次世代会議で出てきた結果や意見。なかなかこの世代の意見に触れることが無かっただけに、興味津々で食い入るように資料に目を通し、報告に耳を傾けていました。

報告の中では、若者会議で防犯灯やゴミステーションの設置・管理を誰が行っているか?という質問をしたところ、正解率が半数程度しかなかったという点について、かなりの方が驚かれました。そして、地域活動への関心はかなりあること、参加のきっかけがない・情報が届いていないなどといった意見に対し、いろいろ思うところがあり、参加者同士の意見交換は大いに盛り上がりました。

参加された方からは、「10〜50代の意見を聞き、自治会でいろいろと考えなければならぬ」と思ったり、「地域の若い人と意見交換をしてみたいと思う」「現在の自治会活動だけでは行き詰まりが来るので、地区単位でのまとまった組織があったほうが良い」という感想が寄せられ、とても有意義な話し合いになったようです。



地域づくり 若者会議

【日時】令和5年9月29日(金)
16:00~17:30 / 19:00~20:30
【参加者】10~20代の市民29名

地域づくりの分野では、なかなか接する機会が少ないのが10~20代です。この世代は、地域活動に対して何を思い、どう考えているのか。それを探ろうということで、若者会議を開催しました。

開催にあたっては、この世代が参加しやすいように、夕方と夜の二部制にしたり、中高生が話しやすくなるような年齢に近い大学生(東北大学の学生さん)に對話の進行をお願いするなど、いろいろと工夫を施しました。また、白石地区内の中学・高校にご協力いただいて、参加を呼びかけたところ、学校の枠を越えて中高生が参加してくださいました。白石地区在住の大学生や社会人も呼びかけに応じて夜の部に足を運んでくださり、最終的には29名の方に参加いただきました。

参加された皆さん、最初は少々緊張気味でした。

地域づくりの分野では、なかなか接する機会が少ないのが10~20代です。この世代は、地域活動に対して何を思い、どう考えているのか。それを探ろうということで、若者会議を開催しました。

開催にあたっては、この世代が参加しやすいように、夕方と夜の二部制にしたり、中高生が話しやすくなるような年齢に近い大学生(東北大学の学生さん)に對話の進行をお願いするなど、いろいろと工夫を施しました。また、白石地区内の中学・高校にご協力いただいて、参加を呼びかけたところ、学校の枠を越えて中高生が参加してくださいました。白石地区在住の大学生や社会人も呼びかけに応じて夜の部に足を運んでくださり、最終的には29名の方に参加いただきました。

参加された皆さん、最初は少々緊張気味でした。

地域づくり次世代会議・若者会議はこんな感じで進めました

①次の質問に対して、一人ひとりが自分の考えをA3用紙に書き出す。

- Q あなたは地域活動に参加していますか？(選択肢から回答)
- Q あなたや同年代の人たちが地域活動に参加・参画しやすくなるためには何が足りていないと思いますか？

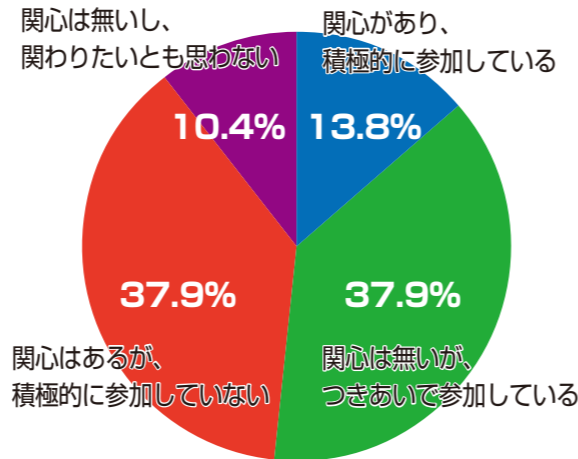


②各々が書いた内容をグループ内で発表しあい意見交換。(約20分経過したら席替え)

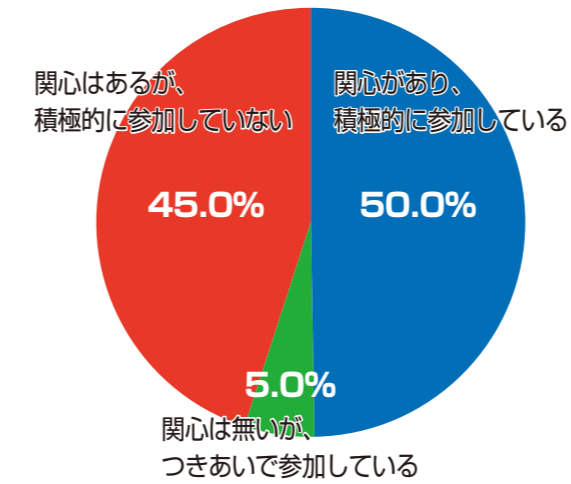
<質問の回答結果&意見>

Q あなたは地域活動に参加していますか？

若者会議参加者の回答 10~20代 (n=29)



次世代会議参加者の回答 30~50代 (n=20)



Q あなたや同年代の人たちが地域活動に参加・参画しやすくなるためには何が足りていないと思いますか？

若者会議参加者の回答 10~20代 (n=29)

- 地域活動は年配者ばかりが頑張っており、若者が参加するというイメージが湧かない。
- 目的や意義・内容・これまでの雰囲気など、基本的な情報を得る機会が今までなかったので、基本的なことがまったくわからない。
- 情報発信が足りない。自分たちの世代には情報が伝わってこない。
- 若者が参加しやすい開催方法になっていない。(時間・場所等)
- 地域活動のきっかけづくりが足りていない。

次世代会議参加者の回答 30~50代 (n=20)

- どんな活動・仕事があるのか・実施しているのかが伝わってこない。
- 大変さ・負担感ばかりが伝わってきて、やりがい・達成感が感じられない。
- 誘われないこともあって、きっかけが無い。参加のための入口・多様な関わり方があると良いのだが、それがわからない。
- 時間的・精神的な余裕がない。
- 普段からの交流・コミュニケーションが足りない。



地域づくり 次世代会議

【日時】令和5年8月23日(水) 19:00~20:30
【参加者】30~50代の市民20名

次の地域の担い手となるのが30~50代です。地域活動に関心はあるものの、仕事や家庭の都合で、なかなか活動に参加できないという方も少なくありません。地域づくり次世代会議には、仕事帰りでお疲れの中、白石地区在住の20名の方々に、日頃から思っていることを忌憚なく語り合ってもらいました。

この世代が地域活動に参加できない理由として多くの方が指摘していたのが、「時間的・精神的な余裕の無さ」でした。それと同時に、「誘われないこともあって、きっかけが無い」「参加のための入口・多様な関わり方があると良いのだが、それがわからない」という意見も、少なからず出されていました。このあたりをどうしていくかが、今後は重要なポイントになりそうです。

また、「どんな活動・仕事があるのか・実施しているのかが伝わってこない」「大変さ・負担感ばかりが伝わってきて、やりがい・達成感が感じられない」というなかなか鋭い指摘もありました。当事者だからこそ感じられ、気持ちも前向きになるような情報発信も、これからはもっと必要なのかもしれません。

ただ、同世代だからこそ安心して本音が話せたようで、「いろいろな人の話を聞いて、考えていること・悩んでいることが同じだなと思っただ」「きっかけや誘いがあれば、地域活動に参加する人はこの世代でも確実にいる」「チョット参加しても、やってよかったと思える地域活動の扉を増やすことが大事」「30~50代が地域の中心となって活動できると思える良い機会となった」など、とても前向きな感想が多数寄せられました。

次の地域の担い手となるのが30~50代です。地域活動に関心はあるものの、仕事や家庭の都合で、なかなか活動に参加できないという方も少なくありません。地域づくり次世代会議には、仕事帰りでお疲れの中、白石地区在住の20名の方々に、日頃から思っていることを忌憚なく語り合ってもらいました。

この世代が地域活動に参加できない理由として多くの方が指摘していたのが、「時間的・精神的な余裕の無さ」でした。それと同時に、「誘われないこともあって、きっかけが無い」「参加のための入口・多様な関わり方があると良いのだが、それがわからない」という意見も、少なからず出されていました。このあたりをどうしていくかが、今後は重要なポイントになりそうです。

また、「どんな活動・仕事があるのか・実施しているのかが伝わってこない」「大変さ・負担感ばかりが伝わってきて、やりがい・達成感が感じられない」というなかなか鋭い指摘もありました。当事者だからこそ感じられ、気持ちも前向きになるような情報発信も、これからはもっと必要なのかもしれません。

ただ、同世代だからこそ安心して本音が話せたようで、「いろいろな人の話を聞いて、考えていること・悩んでいることが同じだなと思っただ」「きっかけや誘いがあれば、地域活動に参加する人はこの世代でも確実にいる」「チョット参加しても、やってよかったと思える地域活動の扉を増やすことが大事」「30~50代が地域の中心となって活動できると思える良い機会となった」など、とても前向きな感想が多数寄せられました。